

科名 外科
 対象疾患名 乳がん
 プロトコール名 GEM+CBDCA(乳線)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓				
2	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて	↓		↓				
			デキサート	9.9mg								
			又は									
3	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて							
			デキサート	9.9mg								
			生食	50mL								
4	点滴注	側管	ゲムシタビン	800、1000mg/m ²	30分かけて	↓		↓				
			5%ブドウ糖	100mL								
5	点滴注	側管	カルボプラチン	AUC2	30分かけて	↓		↓				
			生食	250mL								

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～3にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

- ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
- ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
- ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。

②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。

- ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
- ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。

<カルボプラチン>

投与量計算:AUC2=2x(Ccr+25)

アレルギー-好発時期:8回目以降

A randomized phase III study of iniparib(BSI-201)in combination with gemcitabine/carboplatin(G/C)in metastatic triple-negative breast cancer(TNBC)
 J Clin Oncol 29:2011(suppl;abstr1007)